

## 「青戸小学校の青戸の棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	南九州市立青戸小学校
2. 学年・人数	全学年 59人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年9月9日, 18日, 25日 上別府地区校区公民館 9月30日, 10月9日, 15日 青戸小学校校庭</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年10月19日 青戸小学校運動会 (令和7年8月18日 南方神社夏祭り)</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 青戸の棒踊り (あおとのぼうおどり)</p> <p>(2) 由来 約200年前に薩摩・島津義弘の朝鮮出兵に際し, 青戸の宝代五郎兵衛が喜入町で習って持ち帰ったと伝承されています。農民達が田植えの前後に豊作を祈るための踊りである。五穀豊穡を願って神社でも奉納される。</p> <p>(3) 構成等 3尺棒 (90センチメートル) の4人踊りと, 2人は4尺 (120センチメートル) の棒を持つ6人踊りから構成される。唄い手の唄に合わせて踊る。「イヤサ・エイ・エイ」とかけ声をかけながら, 互いに棒を合わせて踊る。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>学校と地域が協力連携しながら棒踊りを継承していくために, 「棒踊り保存会」の方々に, 体育の授業を中心に, 毎年指導していただいている。地域では南方神社の夏祭り, 学校では運動会で披露。今年の運動会から, 全学年で踊ることとし, 今後も継続して地域と連携して棒踊りを伝承していける体制を整えた。</p>
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">熱中症対策のため, 校区公民館で練習</p> <p style="text-align: center;">運動会で発表</p>
7. 感想・意見  (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棒踊りは動きが難しかったけど, おうちでお兄ちゃんに教えてもらってできるようになった。家族でも踊れて楽しい。</li> <li>6人踊りの中になった。嬉しかった。</li> </ul> <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教える側になり, 難しさとおもしろさを感じた。なぜ, こんなにも受け継がれてきているのか, 興味がわいた。</li> </ul> <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統芸能の継承を, 小学生の子供達に指導することによって, ふるさとに対する思いを深めてもらえたら幸いです。</li> </ul>